

Jabberのディレクトリ属性マッピングの分離テスト

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、Jabberで使用するディレクトリ属性をマッピングし、他のユーザに影響を与えずにテストする方法について説明します。

前提条件

要件

以下について十分に理解しておくことをお勧めします。

- Cisco Jabber
- Cisco Unified Communications Manager (CUCM)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Jabber for Windows 12.0
- Cisco Unified Communications Manager 12.0

設定

単一のユーザに割り当て可能なTrivial File Transfer Protocol (TFTP ; トリビアルファイル転送プロトコル) サーバ上にテストグループ設定ファイルを作成し、新しい設定をテストしてからグローバルjabber-config.xmlファイルに展開すると便利です。

このファイルがTFTPサーバに初めてアップロードされるときに、TFTPサービスを再起動する必要があります。

この例では、Jabber上の[その他]の電話番号をiPhoneのLightweight Directory Access Protocol(LDAP)属性にマッピングする方法を確認できます。

テスト設定ファイルを作成する手順：

ステップ1：お気に入りのテキストエディタを使用して、次の内容の新しいファイルを作成し、jabber-config-test.xmlとして保存します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<config version="1.0">
  <Directory>
    <OtherPhone>ipPhone</OtherPhone>
  </Directory>
</config>
```

注： ipPhoneの値は大文字と小文字が区別され、ディレクトリ属性名と一致する必要があります

ステップ2:jabber-config-test.xmlファイルをクラスタ内のすべてのTFTPサーバにアップロードします。

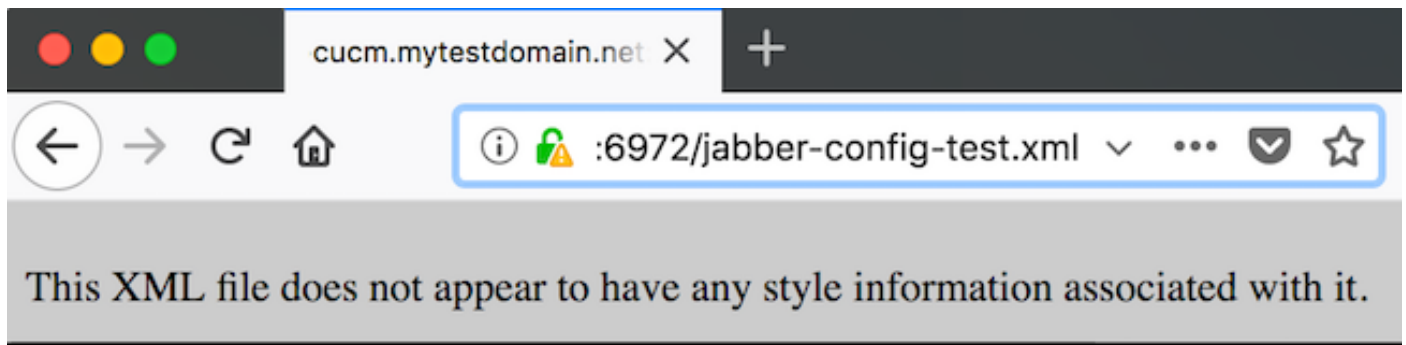
ステップ3：クラスタ内のすべてのノードでTFTPサービスを再起動します。

ステップ4：次のいずれかのURLに移動して、新しい設定ファイルをWebブラウザに表示できることを確認します。

http://<TFTP_server>:6970/jabber-config-test.xml

または

https://<TFTP_server>:6972/jabber-config-test.xml



```
– <config version="1.0">
  – <Directory>
    <OtherPhone>ipPhone</OtherPhone>
  </Directory>
</config>
```

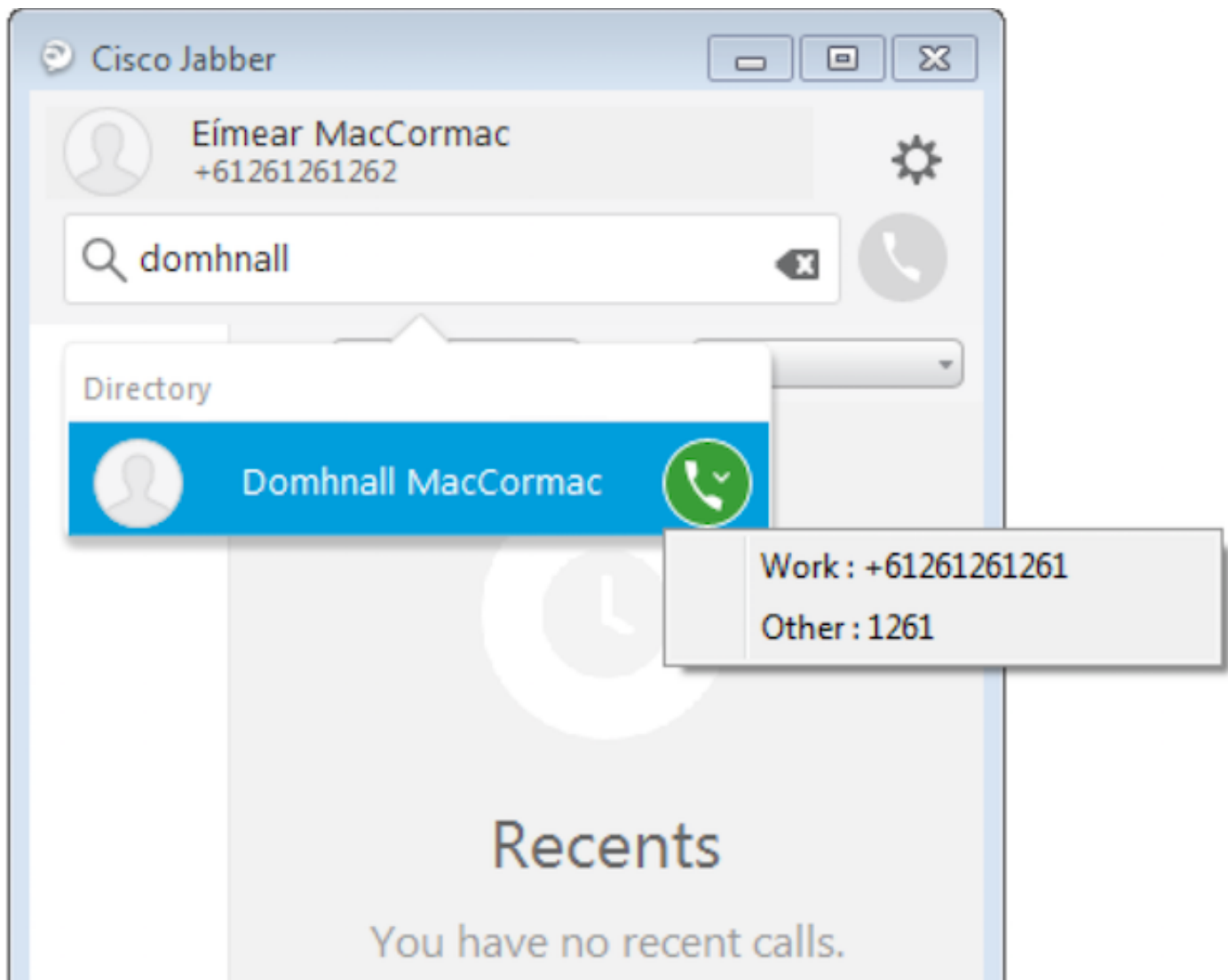
ステップ5：新しい設定ファイルをCisco Services Framework(CSF)デバイスのシスコサポートフィールドのテストユーザにConfigurationFile=jabber-config-test.xmlとして割り当てます。

The screenshot displays the 'Phone Configuration' web interface. At the top, there is a navigation bar with icons for Save, Delete, Copy, Reset, Apply Config, and Add New. Below this, the 'Status' section shows 'Status: Ready'. The main area is divided into several panels: 'Association' (with a 'Modify Button Items' button and a list of lines), 'Phone Type' (showing 'Cisco Unified Client Services Framework' and 'SIP'), 'Real-time Device Status' (showing registration details), 'Device Information' (with checkboxes for 'Device is Active' and 'Device is trusted', and a 'Device Name' field), and a 'Cisco Support Field' at the bottom with a checkbox checked and a configuration file path.

ステップ6：そのユーザのJabberクライアントをリセットして、新しい設定のダウンロードを強制します。

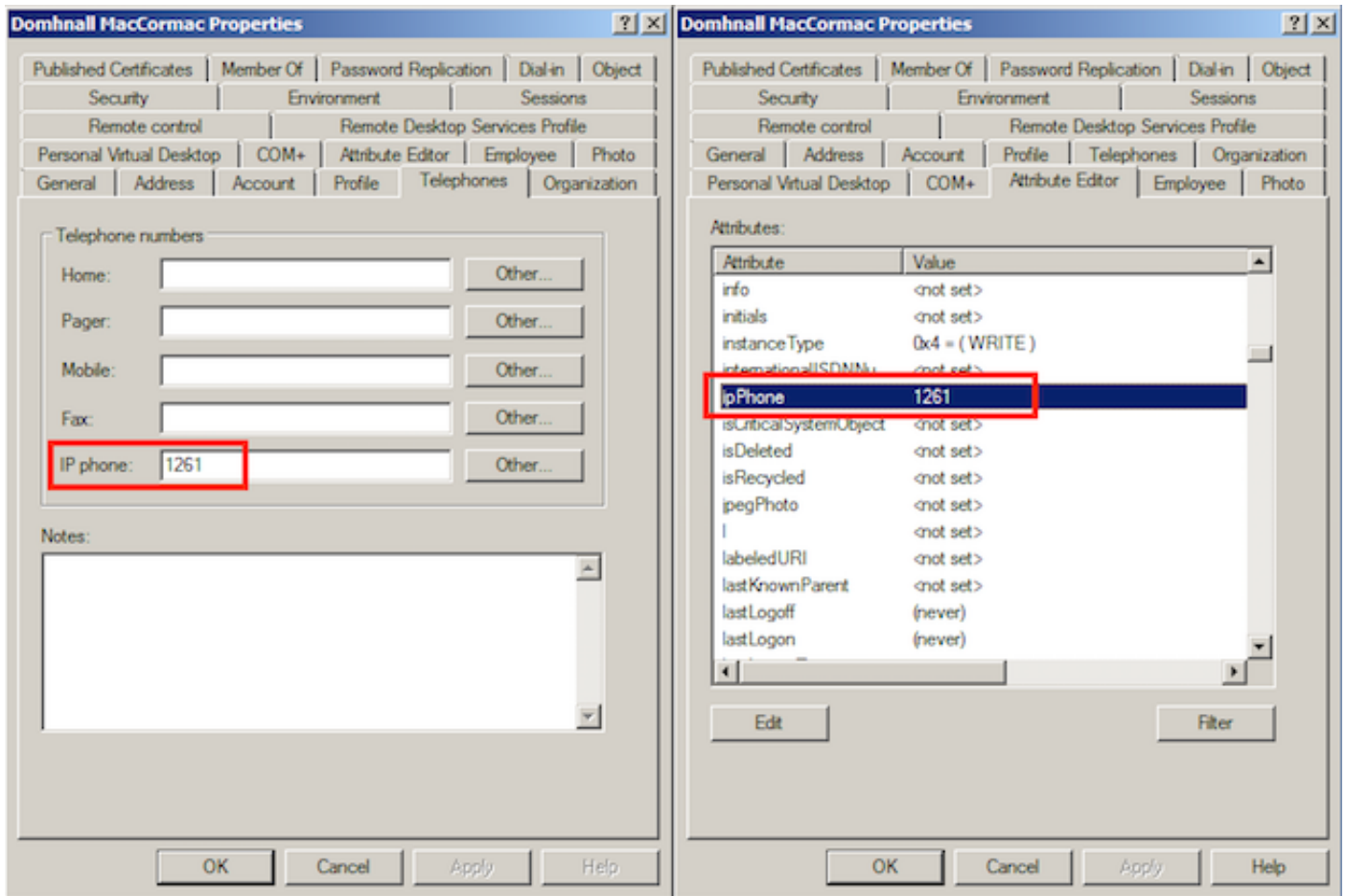
確認

Jabberで、LDAPにipPhone属性が入力されているユーザの[Call]ボタンをクリックし、[Other]フィールドに番号が表示されることを確認します



トラブルシューティング

- 新しい設定ファイルがWebブラウザに正常に表示されることを確認します。
- LDAPの属性をチェックして、値が入力されていることを確認します。



- Jabberログには、テスト設定ファイルが正しく取得され、OtherPhoneの値がipPhoneであることが示されます。

```
DEBUG [0x00000dd0] [ents\ecc\src\config\PhoneConfig.cpp(861)] [csf.ecc]
[csf::ecc::SoftphoneConfig::parseOutConfigurationFileName] - Detected that the "Cisco Support
Field" has the following content: ConfigurationFile=jabber-config-test.xml
```

```
DEBUG [0x00001bc8] [pters\config\ConfigStoreManager.cpp(169)] [ConfigService-ConfigStoreManager]
[CSFUnified::ConfigStoreManager::getValue] - key : [otherphone] skipLocal : [0] value: [ipPhone]
success: [true] configStoreName: [TftpConfigStore]
```

- パケットキャプチャに、正常に返されたipPhone値が表示されることを確認します。

